

令和4年度 香蘭ファッションデザイン専門学校 「学校関係者評価」 評価表

※評価点:A-特に優れている、B-優れている、C-普通、D-優れていない、E-要改善

項目	評価点	評価内容	改善点
1.教育理念・目標	A	理念・目的・育成像が明確であり、しっかりと周知されており、職員への指導も行き届いている。人間教育が最重要視され、技術教育を主眼としている点は評価できる。伝統を理念として浸透させ、学校の強みにできている。現代の若者に合わせた教育をされつつ、レベルアップできる理念がある。	ファッション業界の人気の落ちていく中、学校側も学生に向けたプロモーション、仕掛け等を通して業界の人気の向上、市場の開拓等、中長期的な戦略が欲しい。
2.学校運営	A	年間事業計画を全教員熟知し、計画に沿いながら実地されている。教員の評価・育成以外は適切に行われている。こまめに会議が設けられ、きめ細かい対応を目指している。「和を持って尊しとなす」を共有している点評価できる。事業計画書に沿って適切に運営している。教員としっかりコミュニケーションを取り、スキルアップに努めていることが分かる。	人事考課制度が明確になっていない中、具体的な評価制度が必要と感じた。定員確保が達成できるよう、更なる広報活動をお願いしたい。マンパワーによる取り組みが多い印象なので教職員の疲弊が心配。人員不足では？
3.教育活動	A	教育理念、学科の育成像と年間カリキュラムを設定し職員とも共有できている。関連企業・団体とのコミュニケーションがしっかりととれている。教育活動は不備なく実施されている。学科ごとに明確な育成像があり、時代変化に合わせてカリキュラムを見直すことで質の高い教育が実践されている。全方位的な学びを得て卒業できる学生さんが羨ましい限り。時代のニーズに合わせて臨機応変に対応できている。研修制度を整備されるのはよいこと。	学生の資質、性質が変化していく中、より柔軟なコミュニケーションと接し方が、非常に難しい課題だと思うが、学生に大して大事だと思う。経験していない学生は入学時についていくのが精一杯だったことが思い出される。メンタル面を重要視して欲しい。学生の資質の変化に対応できていない点に気がかかる。学科内でのコミュニケーションを増やして更なる信頼関係を築いて欲しい。学生数含め、抜本的な見直しが必要かもしれない。起業家志望の学生が多い業界の中で、異業種専攻の学生も含めた意見交換会などを年1回行う、というのはいかがでしょうか？新たな視点が開けるかも。
4.学習成果・教育成果	A	年々、コンテストの受賞等多くの人材を輩出でき、レベルが上がっているし、成果も出ている。資格・検定などの取得の向上とチャレンジ精神を育てるところがよい。学習の成果の集大成である制作に対するフラストレーションは、就職した際に必ずその苦勞が生きてくる、と確信します。学生時代に積極的に資格は取得するのが望ましいと痛感します。企業と学生の交流の時間を持つのはとても良い。卒業作品のレベルの高さが素晴らしい。	働き方の多様化もあり、学生の資質によるが、ある程度の社会人としての常識を身につける必要がある。社会に出ると夢と実力のギャップを埋められずに挫折するケースをよく見る。卒業後就職を希望しない学生や早期離職問題が気になるため、就職に対する前向きな意識を持って頂き、ファッション企業の情報収集など体制を整えて頂きたい。就職率も大事だが、積極的な非就職者を前向きに評価する必要があると思う。「鉄は熱いうちにうて」です。働く意味を本当に知って社会人としての覚悟を持って羽ばたいて欲しい。各学生が将来計画を立て、企業OJTに行く前後で将来の計画を発表し合う場を設けるといのはどうだろうか？卒業した後も成長して欲しい。就職希望率が目標に届くと良い。
5.学生支援	A	就職率90%台と高く、教員と就職担当者が学生としっかりと向き合っている結果だと思う。また学費も他校と比較すると安く、極限まで抑えているという努力を感じる。卒業生に学内施設を貸し出ししたりしているのは良い。退職者が多く、きめ細かいフォローまでは手が回っていない印象を受けた。退学者の原因分析、その解決策を検討し、退学者数の公表も必要。学生一人一人に誠実に向き合おうとされている点が素晴らしい。外部カウンセラーも入れ、学生に寄り添った支援ができています。	100名程の卒業見込みに対して担当が1名で対応をする事は負荷がかかり、細やかな対応が難しいと感じた。人員を増やす、アシスタントを付けるなりしてもう少し余裕を持つ事でもっと学生と向き合える時間が増えると思う。中途退学者の対応の改善が必要。デジタルミシンなどの最新式を導入するのも良いのでは。退学者数の公表により、問題が浮き彫りになると思う。若い卒業生の新しいネットワーク構築が必要。卒業後の心の支援も必要かもしれない。多くの学生を見るのは限界があると思うので、先生方の負担が少しでも減る方策があればよい。2人在学しているので、少し減免の制度があれば、もっと良い、と感じる。

6.教育環境	A	<p>学校として常に積極的に色々な事を取り入れて、開拓していく姿勢は素晴らしい。又教育環境も十分に整えられていると思う。時代に合わせた3DCADの導入。施設が古いとの指摘があるようだが、必要なものが十分に揃えられていることが重要。防災。安全管理なども適切。保護者として安心できる。</p>	<p>創立して長い為、劣化の部分は年間予算を持ち、状況に応じて修繕、又は新しくしていく事により、新鮮さが保たれると思う。古い=悪い、でないことを教えることも大事。一方でソフトやハードが時代のニーズに合っているか、への敏感さは重要。特殊マシンに頼らず、基本的なマシンの特性を知り、縦横無尽に使いこなすことも大切。照明などは安全面からも改善が必要。</p>
7.学生の受入れ募集	A	<p>業界の人気の低迷している中、学校としてこの規模を維持し続けている事に努力を感じる。又、九州の中でも知名度はトップクラスでこの規模の学校は他に無い。パンフレットなどよくできている。従来通りの基準で募集を行っているが、ルーティンに陥っているとも言える。入学希望者に対するさまざまな施策は評価に値する。教育内容や魅力は十分伝わっており、高校も見習いたい。SNSの発信もわかりやすく、興味を持ちやすい。</p>	<p>入学者が今後の業界の未来、学校運営にも関わってくる大事な要素になる為、専任の担当者置き、SNS、イメージ戦略、ブランディング、プロモーション等、強化し、入学目標数を達成させた方が良い。広報担当者の不足、書類選考のみで学生の能力把握が少し弱い。レポート提出などで把握しては。一定のハードルを設けても良いのでは。個人的には学生を減らしてでも質を上げ、学費をアップしても良いのでは。学力不足及び障害のある志望者に対し、どのように門戸を広げるかの課題は熟慮が必要。</p>
8.教育の内部 質保証システム	A	<p>法令、各種基準に沿い、適切に運営され、接客的に、現状に満足せず、改革・改善に取り組んでいる。</p>	<p>この項目評価が低い点においては、この評価委員会を通じ改善されると認識している。</p>
9.財務	A	<p>エビデンスも揃っており、事業計画に沿っている。財務基盤、予算・終始計画、監査、財務公開において適切に行われている。財務基盤は安定しており、ここ数年は安定していると推測します。</p>	<p>特になし</p>
10.社会貢献・ 地域貢献	A	<p>近隣清掃、地域イベント、行事等、学校全体として積極的に参加していると思う。授業が大変な中、地域の清掃活動などよく頑張っていると思う。先月の舞鶴小学校でのショーも拝見し、地域の方との交流もあって良かった、と思う。</p>	<p>地域貢献等ボランティア活動が多くなると職員、学生の負担が多くなるのでバランスが必要。ボランティア活動は個人の意思に伴う自主的な活動なので無理のない感じで良い。地域の活動などに積極的に参加して欲しい。HPを利用してPRを今まで以上に行って欲しい。</p>
11.国際交流 (必要に応じて)	B	<p>フランス研修の実施や今度留学できるような紐付けを考えているのが良い。留学生の更なる受け入れも必要。国際交流は現在は控えめようだ。コロナ禍でさまざまな制約があった中、これからの推移に期待。</p>	<p>今後の業界の活性化も含めて、積極的に留学生の受け入れはしてほしい、業界の人材不足、グローバルに対応できるスキル向上等色々な事に対応できると思う。場合によっては、外部団体とタッグを組んでも良いのでは。ヨーロッパの結果をPRされてはいいが。グローバルな視点は時代背景からも必要。日本の良さを知る上でも世界を知る機会は大事にできるといい。</p>